

目次

第2版はしがき
はしがき

第I部 総論——憲法の間へ(再)入門

序	憲法を学ぶ視線	2
	18歳が、いま、なぜ憲法なのか／現場へのこだわり——本書の視線①／ 何のための憲法論か——本書の視線②／原点からものをみる——本書の視線③	
1	立憲主義ってなに？	6
	なぜ憲法は必要なのか／大統領3選禁止の意味——「人気があっても、任期でやめる」／ なぜなら憲法があるから…	
2	憲法前文から読みとる	8
	前文暗記で憲法教育？／前文の法的性格／前文を変えるというけれど	
3	憲法は誰が守る？	10
	「憲法村長擁護義務」／公務員すべての憲法尊重擁護義務の射程／国民の憲法忠誠がない意味	
4	憲法の補則から見えるもの	12
	憲法のトリビア話／日本国憲法第11章／ドイツ基本法第11章	
5	国民主権と18歳選挙権——あなたがこの国の主人公だというけれど	14
	主権とは何か／主権におけるWhose?／日本国憲法の代表制／18歳が18歳選挙権に消極的？	
6	象徴天皇制、その無意味の有意味	18
	象徴天皇制がモデルに／現人神から「象徴」へ／リセットの仕掛け／象徴天皇制のゆくえ	
7	なぜ「9条」は必要なの？	20
	憲法9条誕生の背後にあるもの／立憲主義との関係からみた憲法9条／ 憲法9条をめぐる「現実」——「自衛力」合憲説？／集団的自衛権行使容認の「安保法制」／ 憲法9条のダイナミズム／補論：「3.11」は憲法改正（緊急事態条項）の理由にならない	
8	「安全」vs. 自由	26
	「安全・安心」という言葉／「安全」と憲法／「テロ」からの安全？／「生活安全条例」の危なさ	

第II部 人権論——個人の権利を保つこと

9	人権とは——その語られる場とは？	30
	「人権」というけれど／「個人」の人権の対「国家」性／元カレによる人権侵害？	

10	人権はどのようにして発展してきたの?——「人権」物語……………	32
	壮大なるフィクションの意味／フィクションから憲法上の権利へ／人権の再転換?	
11	人権と「公共の福祉」の微妙な関係……………	34
	「公共の福祉」とは?／「公共の福祉」の風景	
12	人権は法人にも保障されるの?……………	36
	人権における Whose?／性質適用説というけれど／強制加入団体で起きたこと	
13	人権と感染症から見える「特別権力関係」……………	38
	新型インフルエンザへの不安／前文をもつ感染症予防・医療法／「特別権力関係」の例示?	
14	平等原則の前線——女性も戦場へ行った……………	40
	女性の戦闘職種拡大の意味するもの／さまざまな平等と合理的区別／雇用機会の平等	
15	プライバシー権——生活調査とIT社会……………	44
	学生にセックス体験を聞く／国勢調査の目的は何か／国勢調査はどこが問題か／ プライバシー権をどう理解するか／IT時代のプライバシー権	
16	思想・良心の自由——内申書裁判で問われたこと……………	48
	中学生にも「全共闘」がいた時代／思想・良心の自由とは何か／沈黙の自由	
17	信教の自由と政教分離——何を信じてもいいけれど……………	50
	「北海道開拓の村」で／信教の自由とは何か／政教分離とは?	
18	表現の自由と国際人権条約……………	54
	ナチス式敬礼／国際人権条約による表現の自由規制	
19	表現の自由と「わいせつ」……………	56
	平積み「わいせつ文書」／「わいせつ」規制の根拠／ポルノと平等・権利の保障	
20	学問の自由——なぜ大学の自治は大切な?……………	58
	「学び、問う」への旅立ち／学問の自由の本質／大学の自治の原点と現点	
21	なぜ「家族」も憲法の条文にあるの?……………	60
	「家庭のない家族の時代」から1世代以上／憲法と家族／家族をめぐる法状況	
22	生存権——朝日訴訟から半世紀のリアリティ……………	62
	一結核患者の命がけの訴え／朝日訴訟—審判決の光／生存権をめぐる学説／ 「構造改革」の荒野からの脱却を／憲法25条の存在価値	
23	教育を受ける権利——子どもの視点から……………	66
	子どもの権利条約から四半世紀／教育を受ける権利とは?／教育の自由の意義	

24	勤労権と労働基本権——「格差社会」での現代的意味 ……………	68
	「格差社会」の風景／勤労の権利の意味／児童酷使の禁止／団結権の現代的意義／ 団体交渉権とストライキ権	
25	財産権——不可侵性と「公共の福祉」の間で ……………	72
	軍用地も住宅ローンも投資対象に／財産権の保障は絶対ではない／正当な補償とは？	
26	人身の自由と刑事手続——権力は間違うから ……………	74
	死刑求刑が無罪に——北方事件／国家権力は間違うから／自白に対する「不信の構造」	
27	拷問は絶対禁止？ ……………	76
	例外なしに禁止／拷問禁止の射程／必要な拷問がある？	
28	参政権——外国人と、どう考えるの？ ……………	78
	ある町内会の話／外国人参政権はノープロブレム？／永住者の地方参政権実現に向けて	

第Ⅲ部 統治機構論——国家の権力を分けるしくみ

29	国会の二院制とは——参議院はいらない？ ……………	82
	「衆議院のカーボンコピー」？／二院制の意義／「ねじれ国会」と参議院	
30	国会議員の不逮捕特権はいらない？ ……………	84
	「特権」への不信／不逮捕特権の意義	
31	国政調査権——接待漬け元次官の証人喚問から ……………	86
	災害派遣の時にもゴルフを続けた／国政調査権とは何か	
32	内閣と行政とは——首相は誰が選ぶ？ ……………	88
	「行政権」とは何か／内閣と内閣総理大臣／議院内閣制と大統領制の違いは？／ 首相公選論——大統領型首相？／内閣機能の強化と「官邸主導」	
33	司法の独立とは——裁判官の職権の独立は？ ……………	92
	児島惟謙大審院長のもう1つの顔／司法権・裁判所・裁判官の独立／ 国会 vs. 裁判所——浦和事件と吹田黙禱事件／司法行政 vs. 裁判官——平賀書簡問題と再任拒否事件／ 裁判官の独立は守られているか——俸給格差から裁判員制度まで	
34	裁判官弾劾裁判所なんていない？ ……………	96
	どこにあるか知っていますか／裁判官弾劾裁判所の役割／存在することに意味がある	

35	違憲審査制の意味——「裁判官としてあたりまえのことを」 ……………	98
	裁判所が自衛隊を違憲と判断した／具体的か抽象的か？——違憲審査もいろいろ／ 日本の違憲審査制について／統治行為論に逃げ込まなかった裁判官	
36	財政立憲主義と財政民主主義 ……………	102
	「お金」をもてあそぶ権力者たち／憲法第7章「財政」に書かれていること／公金支出の制限／ 「払税」者の権利	
37	地方自治の可能性——沖縄が問い続ける現実 ……………	106
	名護市民投票の意味／「国家的利害誘導」の失敗／「地方自治の本旨」の射程／ 地方自主立法＝条例／住民投票の新しい可能性／平和における地方の時代——辺野古基地移設問題	
38	憲法保障を考える意味——「憲法の番人」は誰？ ……………	112
	「憲法」を「擁護」する「官庁」？／憲法保障の意味／ さまざまな憲法保障——違憲審査制から抵抗権まで	
39	憲法改正をどう考える？——18歳からはじめる議論に期待する ……………	114
	結局、憲法って何だ？／憲法の変わり方／憲法改正に限界はある？	

凡 例

本書では多くの文献を参考としているが、本書が教科書であることから、研究論文や他の教科書など多くの文献の注記を省略せざるを得なかった。

もっとも、特に読んでほしい文献については、できる限り明記した。

裁判例についても、原則として年月日のみ情報を載せた。

裁判所のウェブサイトや、大学でデータベース「LEX/DB インターネット」などを検索してほしい。

特に明記した重要判例の略語は下記の通りである。

民集：最高裁判所民事判例集

刑集：最高裁判所刑事判例集

行集：行政事件裁判例集

本書の補講（補足）としては、筆者のホームページ <http://www.asaho.com> から「サイト内検索」欄で気になるキーワードを検索してほしい。